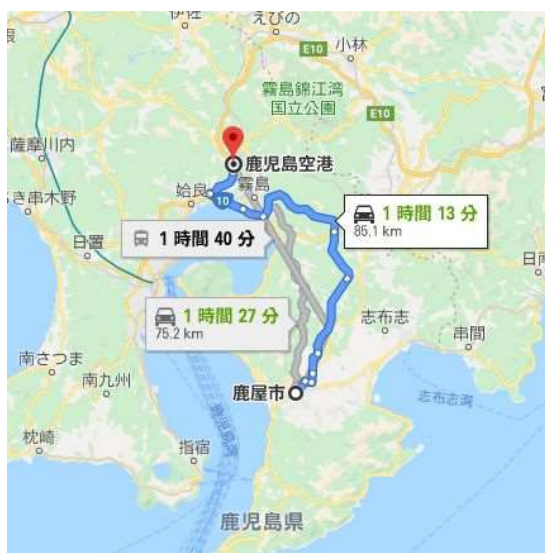


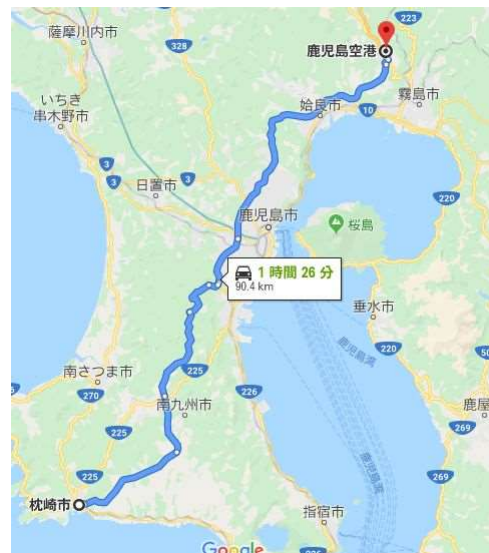
3.移動・物流対策

(1) 現状

日本の南西端に位置する地理上の性質、また大隅半島のインフラの弱さにより移動及び輸送のコストが時間、費用の両面において高く、移動の不便さによる大隅の過疎化や新鮮な生産品の遠くまでの輸送が難しいという問題を抱えています。



鹿屋市から空港へのアクセス



枕崎市から空港へのアクセス

大隅半島、特に鹿屋以南への移動・物流コストが生産性を低下させています

(2) 提言

①政策

移動及び輸送のコストを下げるためのインフラ整備を行い、移動及び輸送時間を短縮します。

②施策

空港等移動拠点までの接続をスムーズにします。また、移動自体の時間を短縮するための交通網を新規に建設します。

③事業（参考）

- ・現在、鹿児島空港の手前にある高速道路のICを空港直結し移動コストを削減します。その他、溝辺空港をハブ空港化し、アジア諸国をはじめとする諸外国へ直接輸送できるようにすることで農作物等の新たな市場開拓の一助とします。
- ・錦江湾に架橋またはトンネル建設を行うことにより大隅からの移動・輸送の大幅な時間短縮を実現します。さらには、錦江湾（南部）に海上空港を建設することを検討します。例えば、指宿・根占間に架橋することで南薩縦貫道・九州自動車道・東九州自動車道・大隅縦貫道を結ぶ環状幹線道路を確立し救急医療の体制強化や枕崎ヘリポートの活用による輸送力強化を図ります。